

| 地域活性化伝道師プロフィール | | 分野 | 地域産業・イノベーション・農工商連携 | 農・林・水産業 |
|----------------|---|--|----------------------------------|----------------------------------|
| | | | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| | | | <input checked="" type="radio"/> | <input checked="" type="radio"/> |
| | | | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| | | | <input type="radio"/> | <input checked="" type="radio"/> |
| ふりがな | | わかばやし むねお | | |
| 氏名 | | 若林 宗男 | | |
| 所属 | 名称 | 若林ビジネスサポート／事業構想大学院大学／(一社)九州通訳・翻訳者・ガイド協会／ふるさと創成の会／九州の食／福岡デザインアクション／絶景九州プロジェクト | | |
| | 役職 | 代表／特任教授／理事／理事／理事／理事／代表 | | |
| 連絡 | 住所 (公開) | 〒 812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRIP博多ビル4階 事業構想大学院大学 (職場) | | |
| | 連絡先 (公開) | E-Mail muneodragon[アットマーク]gmail.com | | |
| | | 連絡先 (公開) | TEL 080-5648-8552 | FAX - |
| | 連絡方法 | - | | |
| 略歴 | <p>1975年 国際基督教大学教養学部社会科学科卒業、テレビ東京入社。 1982年～1985年 テレビ東京ニューヨーク支社を開設、支社長として3年間執務。 1988年 ワールドビジネスサテライトを立ち上げ、初代ニュースキャスター。 1995年 テレビ東京のホームページを予算ゼロで開設。 2004年～2007年九州大学知的財産本部客員教授。 2011年 福岡市に移住、若林ビジネスサポートを開業。 2013年 福岡県の農山村と都市の絆づくり事業でうきは市と星野村のアドバイザー。 2014年～2021年 九州大学と西日本シティ銀行のビジネス創造交流会ファシリテーター。 2015年～ (一社)ふるさと創成の会設立に参画。理事。 2015年～ (一社)九州の食の設立に参画。理事。 2016年～2022年 (一社)九州観光推進機構九州観光広報センター副センター長兼海外担当。 2017年 経済産業省九州経済産業局知的財産室主催九州ブランド総選挙審査委員長。 2017年～2020年 八女商工会議所福島地区観光振興プロジェクトアドバイザー。 2018年 九州経済産業局知的財産室主催九州地域ブランドコンペティション審査委員長。 2018年～ (一社)九州通訳・翻訳者・ガイド協会の設立に参画。理事。 2018年～ facebookで絶景九州ページ、絶景九州グループを開始。 2019年～2022年 事業構想大学院大学 客員教授に就任。 2020年 八女商工会議所に提案した高級古民家ホテルの提案が実現、八女市福島地区にNIPPONIA HOTEL八女福島商家町が開業。 2020年～ 一般社団法人福岡デザインアクション(FUDA)に参加。理事。 2021年～2022年 九州大学大学院農学研究院でビジョンデザイン特論講師。留学生を指導。 2021年～ 筑紫女学園大学 現代社会学部現代社会学科 地域産業論 非常勤講師。 2022年～ 事業構想大学院大学 特任教授に就任。 2022年～ 株式会社佐賀自然環境機構 顧問に就任。</p> | | | |
| 著作・論文等 | <p>著作:遊撃する中小企業 福岡 佐賀 長崎 注目の15社(梓書院) 寄稿:観光業から観光産業へ～人口6万人の町の古民家ホテルの挑戦(九州経済調査月報2021年1月号 公財九州経済調査協会) 寄稿:九州観光への提案 英国ラグビーツーリズム in 九州(九州経済調査月報2020年4月号 公財九州経済調査協会) 編集協力:遊撃する中小企業 福岡 佐賀 長崎 注目の企業15社(梓書院 2019年) 編集協力:九州と諸外国の交流ストーリー集2019(国交省九州圏広域地方計画推進室) 寄稿:五つ星ホテルが開くプレミアム経済(九州経済調査月報2018年7月号 公財九州経済調査協会) 著作:大震災のなかで私たちは何をすべきか(共著 岩波新書 岩波書店2011年) 著作:新しいアメリカ革命—レーガン最後の挑戦(共著 東洋経済新報社1985年)</p> | | | |
| 取組概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・facebookを使い、地域の価値の見える化やアピール、コミュニティづくりが得意。 ・facebookページごは人大好きの管理人、6万人のファンがいる。 ・facebook絶景九州グループの管理人、4万人のメンバーがいる。 ・豊富なメディア経験とコミュニケーション能力を活かし各地の地域おこしに取り組む。 ・企画、広報、イベント開催で強みを発揮、プレスリリースの記事化率は9割を超える。 ・福岡県八女市の八女商工会議所の観光振興事業のアドバイザーとして滞在型観光の重要性を説き、高級ホテルの開設を提案。八女市福島地区に遺る築100年以上の古民家2棟を改装したNIPPONIA HOTEL八女福島商家町の開業(2020年6月)につなげた。 ・中国経済産業局知的財産室の中小企業伴走支援事業の専門家を2021年から担当。米子市の中海テレビ、出雲市の旭日酒造、呉市の石野水産を支援した。 ・九州大学大学院農学研究院でビジョンデザイン特論講師。国費留学生にバックキャストニングを指導。 ・筑紫女学園大学 現代社会学部現代社会学科 地域産業論 非常勤講師。 ・事業構想大学院大学 特任教授に就任。 ・九州の観光振興には九州としての広報活動が不可欠と考え、九州広報センターの設立を提案。九州観光推進機構の石原会長が賛成し、2016年6月に同機構内に九州観光広報センターが設立され、副センター長兼海外担当に就任。 | | | |
| メッセージ | <p>「着眼大局・着手小局」「知られていないことは存在しないに等しい」「第三者観」「美味しいものには旅をさせるな」「価格の値は価値の値」をキーワードに、地域の価値の「見える化」と「聞こえる化」に取り組んでいる。人口減少と少子高齢化は全国共通の課題だが、細かく見て行けば地域ごとに異なる。その違いを言葉にして地域の価値を明らかにし、それを手がかりに地域おこしをしたい。「何もありませんが」とか「粗末なのですが」という謙譲語を少し抑えて、豊かな自然の中の暮らしの現場に「よー来んしゃった」(よくいらっしやいました)という気持ちを前に出して地域をアピールし、観光交流人口を増やすことにつなげたい。そういう活動を地域の人たちと共有したいと考えている。</p> | | | |
| 関連ホームページ | https://www.facebook.com/muneo.wakabayashi https://www.facebook.com/groups/zekkei.kyushu.group https://fukuoka-person.com/wakabayashi-01/ | 活動エリア | - | |

※ 公開できる情報のみ掲載しています。
※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。
※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。